

木材のリサイクルから足柄茶の生産、そして荒廃農地再生へ・・・

(株)富士建設 代表取締役 文字 正和

本社 〒259-0151 神奈川県足柄上郡中井町井ノ口2444番地の1

電話 0465-81-0070 <http://www.fk1982.net>

1. 木材のリサイクルから足柄茶の生産



弊社では神奈川県を中心に建設業と木材リサイクルを中心に事業展開を行い、木質チップを利用して育成した茶葉の生産を年間約3.0t行っており、今後増産を予定しております。

弊社は県内の工事を行った際に出てくる伐採木や、剪定枝などを中心に日量約30tの木質チップを製造しており、敷料や堆肥、燃料向けに出荷している。通常では扱いにくいと言われている竹などの破砕も行っております。この竹チップが茶の育成の鍵となっています。

通常の木質チップでは、土壌がアルカリ化する可能性があるが、竹チップを敷料とすると土壌が酸性化し、茶葉の育成に最適になります。茶を摘めるまでの生育に5年ほどかかりますが、3、4年で収穫できるサイズになっています。竹チップを敷き詰めた茶園の管理が高い評価を頂き、平成28年には第49回神奈川県茶園共進会にて、農林水産大臣賞に次ぐ関東農政局長賞を受賞いたしました。

現在は生産した茶葉を県に卸し、地元の名産「足柄茶」として販売されていますが、今後は独自の荒茶工場の建設を計画しており、農業法人の設立や独自の流通ルートの開拓も検討しております。

2. 公共建設発生土の活用した荒廃農地再生



また山間部の農地、山林を利用した建設発生土受け入れ事業も行っており、足柄上郡大井町にて土地改良事業を実施し、今年の4月工事が完了しました。今後、周辺地域で同様の土地改良事業を計画し、自社でも農地を取得してさらにお茶をはじめとした農産物の生産を拡大していく予定であります。

農地整備を実施することにより、整備が行き届かなかった山林や河川の整備も併せて行うことにより周辺環境の向上、生態系の保全も図ることが可能となります。農地整備と併せて施工する道路、排水路の整備により、周辺の山林、河川へのアクセスも改善され、荒廃しつつある山林の整備が容易になり、台風等による自然災害の低減にもつながります。また神奈川県内では、新東名高速道路や横浜湘南道路、厚木秦野道路(国道246号バイパス)、リニア新幹線の建設などの大型公共工事から建設発生土砂が多く発生し、土砂の処理が喫緊の課題となっております。

農地の再生、防災と併せ、建設発生土の有効利用を行うとことにより、素晴らしい県土整備にも貢献いたしております。

6月1日より株式会社富士建設公式サイトを開設いたしました！上記事業の取組のほか、最新情報を発信しております。

<http://www.fk1982.net> へアクセスしてください！